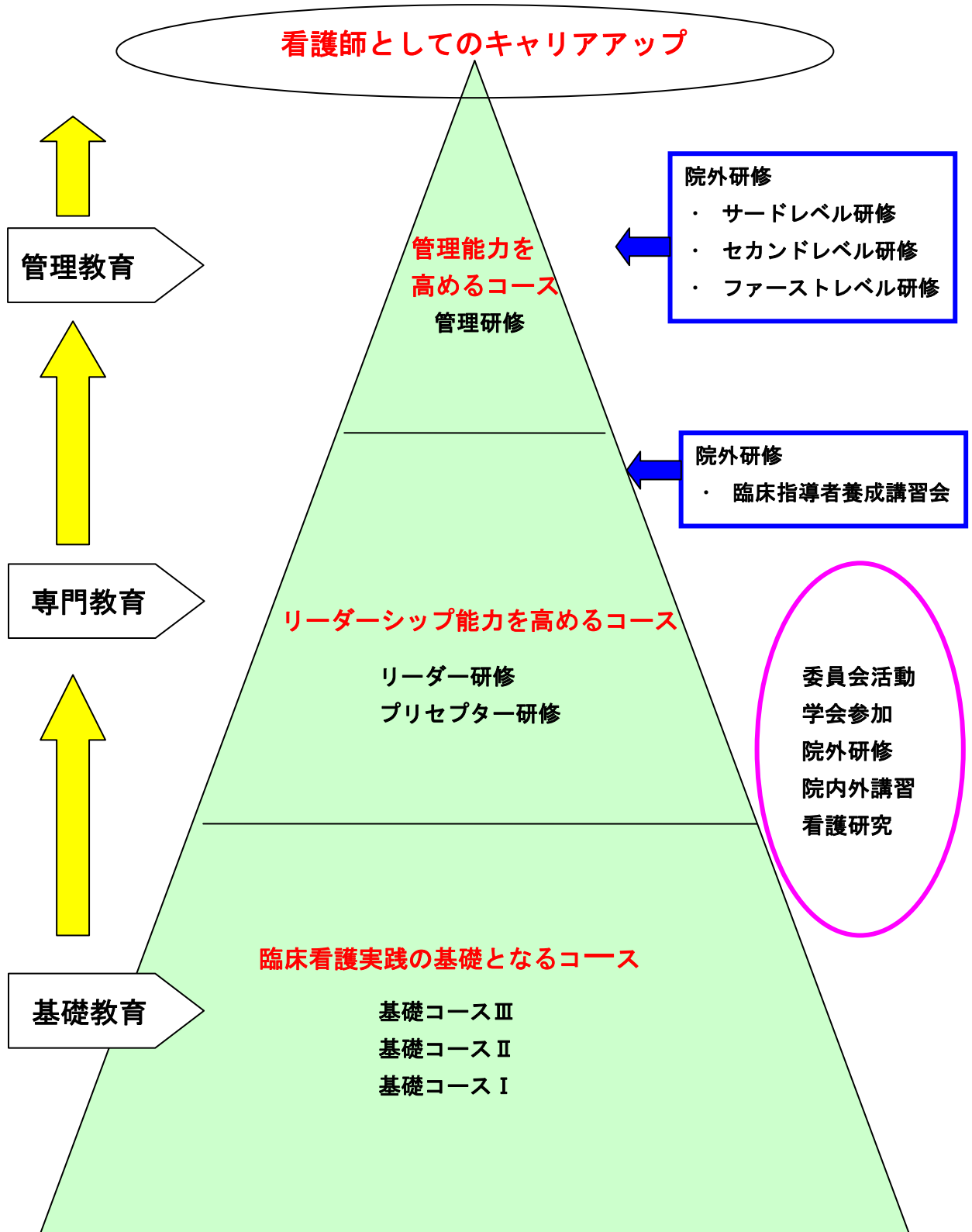


看護師教育プログラムシステム



看護局 卒後教育

教育目標

1. 組織における自己の位置づけと役割を自覚できる。
2. 患者および家族に質の高いケアが提供できる。
3. 自ら学ぶ姿勢をもち、自己啓発ができる。

当院の目指す看護職員像

1. 人の生命および人権を尊重し、個々の権利・ニーズを考えられる職員。
2. 人の痛みや悲しみ、喜びなどを感じられ、相手の立場も考えられるような人間性をもった職員。
3. 専門職業人として生涯継続学習をし、自己の能力の開発または自己啓発の姿勢をもつ職員。
4. 患者・家族はもちろんのこと、患者を取り巻くすべてのことに目を向け、患者のために行動できる職員。

各コースのねらい

1. 基礎教育：看護師基礎コース

看護基礎教育卒後1～3年目を対象としたコース。成長過程に合わせた教育内容を通して、主体的に学ぶ姿勢を養うことをねらいとする。新卒者以外の採用者に対しては、本人のレディネスを考慮しコースを決定する。

1) 基礎コース I

卒後1年目を対象とする。新卒看護師が臨床実践の場において原則を理解し、基本的な知識、技術を習得することにより、患者に安全な看護が提供できるように支援する。また、チームメンバーの一員として役割を果たす能力を養う。

2) 基礎コース II

卒後2年目を対象とする。習得した知識、技術を活用し、受け持ち看護師として自立できるように支援する。また、メンバーシップが発揮できる能力を養う。

3) 基礎コース III

卒後3年目を対象とする。アセスメント能力を高め、個別で継続した看護が提供できるように支援する。また、メンバーシップを発揮しながらリーダーとしての役割を果たすことができるよう支援する。

2. 基礎教育：准看護師基礎コース

准看護師学校卒後1、2年目を対象としたコース。臨床実践の場において原則を理解し、基本的な知識、技術を習得することにより、患者に安全な看護が提供できることをねらいとする。また、看護師の指示のもとチームメンバーの一員として役割を果たす能力を養う。

1) 卒Ⅰコース

看護職としての基本的な知識、技術、態度を習得する。

2) 卒Ⅱコース

習得した知識、技術を活用し、看護師の指示のもとチームメンバーとして自立できるように支援する。

3. 専門教育：リーダーコース

リーダーとしての役割を理解し、リーダーシップ能力を養うことをねらいとする。

1) プリセプター研修

卒後3年目以上で、今年度及び今後プリセプターを担当する看護師を対象とする。プリセプティィーに対して教育的に関わることができ、自律した看護師として成長できるように支援する。

2) リーダー研修

卒後4年目以上の看護師を対象に任意で選出する。リーダーとしての立場を自覚し、リーダーシップ能力を発揮できるように支援する。

4. 管理教育：管理コース

看護師長・主任・副主任を対象とする。病院組織における看護管理の基本理念を理解し、管理能力を養うことをねらいとする。

5. 専門教育：実践コース

臨床工学技士、介護福祉士、看護補助者、准看護学生を対象にしたコース。看護チームの中での各々の役割を認識し、適切なケアを行う能力を養うことをねらいとする。

1) 臨床工学技士研修

生命維持監視装置の動向などに関する情報収集や、関連分野の知識を取得することにより、専門的知識及び技術の向上を支援する。また、医療チームの中で役割が発揮できる能力を養う。

2) 介護福祉士研修

日常生活援助や生活の質向上に関する専門的知識及び技術の向上を支援する。また、医療チームの中で役割が発揮できる能力を養う。

3) 看護補助者・准看護学生研修

看護補助者として必要な知識、技術、態度を養う。また、チームの一員としての役割を果たす能力を養う。